

ふれんど

【ひろがれ、かसानれ、むさしののわ】

2019
第46号



特集

「ものづくり工房 hicobae」
から

「つむぐつsumuguto」>

●トピックス

月に1度のスペシャルディナー

●食を通じて地域とつながる

ホストタウンルームニアとの

国際交流

●えすぷれつそスペシャル

かけがえないお一人として

鈴木陽太

一人ひとりに合わせた環境設定

人見祐加

経験値上昇中の新人パン屋

濱田紗希

新鮮な毎日で楽しく明るく

花水三織

●福々刻々

基本を忘れずに

「ものづくり工房 hicobae」から 「つむぐと tsumuguto」



障害者支援部門のデイセンターふれあい、ワークセンター大地、デイセンター山びこの創作作品が展示販売されているギャラリーショップが、2019年9月より新しく生まれ変わりました。今回の特集では、hicobaeのこれまでを振り返り、新しくなった「つむぐと tsumuguto (以下、「つむぐと」)」のご紹介をさせていただきます。

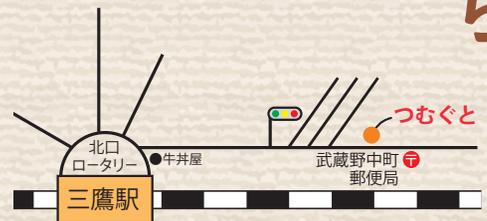
ものづくり工房 hicobae 開店

生活介護事業所のご利用者の「はたらく」というカテゴリの中に創作活動があります。創作活動はしごととしての意味合いだけでなく、作品を通じてご利用者のことを知ってもらい、障害のある方への理解が広がればという思いもあり、長い年月をかけて大切に続けてきました。そして、ご利用者の皆さんの手から、織物や押し花作品、ペイントされたTシャツやスニーカーなど1点物の魅力があふれた作品がたくさん誕生しました。

しかし、販売する場所や機会があまりない現状がありました。皆さんの作品をもっと地域の方に届けたいという思いから、2014年4月、三鷹駅北口にギャラリーショップをオープンすることになりました。「新しい出会い」と「大きな可能性」という気持ちを含めて、お店は「ものづくり工房 hicobae (ひこばえ)」と名付けられ

ました。

はじめは「ここは何をやっている場所なんですか？」と尋ねられるなど、なかなかお店として認識されませんでした。徐々に立ち寄ってくださる方が増えていきました。「ファンなんです！」とリピートしてくださるお客様も。「手作りのあたたかさを感じる商品が多く、贈り物として喜ばれていま



住所：武蔵野市中町1-28-10

月・水・金 10:00~15:00

三鷹駅北口より徒歩5分

お問い合わせはデイセンター山びこへ

電話：0422-54-5102



イチオシ商品のダルマ

hicobaeのこれまで

参加したイベント(順不同)

- 三鷹ツインタワーマルシェ (三鷹駅北口)
- エコマルシェ (武蔵野グリーンセンター)
- かわいいものと小さな芸術祭 (青梅)
- わくわくフェスタ
- (西久保稲荷神社、関前公園)

- さんかくフェスタ (井之頭公園)

- 土と平和の祭典 (日比谷公園)

- G O E N enen engimono (浅草)

- ハモニカ横丁朝市 (吉祥寺)

- 軒下フェスタ (グリーンパーク商店街)

- クリスマスマーケット

- (グリーンパーク商店街)

- 井の頭アースデイ (井之頭公園)

- まんぱく (昭和記念公園)

- 紫峰祭 (武蔵野東学園)

- コミュニティセンターイベント (中央、南町、けやき)

- session.50 (飯田橋)

- 武蔵野オールブリュット (吉祥寺)

販売場所

- マジエルカ

- アムリタ食堂

- 香七絵珈琲

- レインボー薬局

- 境橋クリニック

- オンワードリユースパーク吉祥寺

- ハート接骨院

企業との協同

- 株式会社オンワードホールディングス

- オンワードリユースパーク吉祥寺にてリメイク雑貨を販売。夏祭りのディスプレイに

- 作品を提供。

- 三井住友信託銀行

- 吉祥寺支店、吉祥寺中央支店の2か所で、

- 作品展示を実施。お客様へのノベルティとして作品を提供。

吉祥寺支店、吉祥寺中央支店の2か所で、作品展示を実施。お客様へのノベルティとして作品を提供。

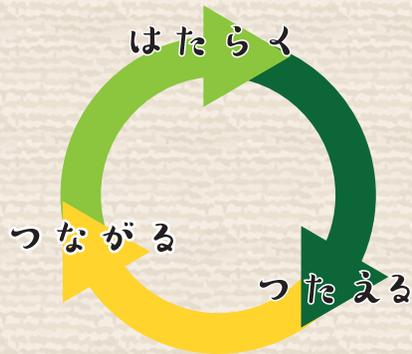


図1 「はたらく」を「つたえる」ことにより「つながる」。そして「つながる」ことによりまた「はたらく」へかえっていく。輪のように循環しながら、大きく膨らんでみんなが豊かになることを目指します。

す」という嬉しいお言葉を頂きました。地域のイベントで販売やワークショップを行ったり、企業と協同して作品展示をするなど、たくさんの方と出会い、つながりの輪が広がったと感じています。



切株からちよこつと伸びた新芽の葉（ひこばえ）は、地域の方との交流によって、どんどんと育っていきました。

「Thicobae」から「つむぐと」へ

生活介護3事業所が取り組んできた創作活動は、それぞれに個性があり、魅力があり、創作の中で生まれたつながりがありました。それらの強みを合わせてひとつになると、Thicobaeはより地域に根差したお店に発展していけるのではないかと考え、コンセプトや店名、お店の内装など、すべてのことを見直してみることにしました。以前から創作にかかわってくださったいるデザイナーの守本悠一郎氏にも協力して頂き、たどりついた答えが「つむぐと」です。「紡ぐ」と「人」を合わせた造語で、「糸を紡

ぐように、作品や人と人との関係、物語をつむぎたい」という意味が込められています。基盤となるコンセプトは「はたらく⇆つたえる⇆つながる」です(図1)。そのコンセプトを実現するために、既存の商品をブラッシュアップし、外観や内装を気軽に立ち寄れるデザインにリニューアルしました。来店したお客様がまた立ち寄りたいと思えるような、そんなお店になったと感じています。

ご利用者一人ひとりがはたらきながら輝ける場、地域の方との自然な交流が生まれる場、ちよこつと素敵な情報を発信していく場。つむぐとは「はたらく⇆つたえる⇆つながる」の実現を目指し、わくらすとすばるを合わせた生活介護5事業所で力を合わせ、これからも進んでまいります。たくさんのお思いがまった「つむぐと」。ぜひ一度遊びにいらしてくださいね。



ご利用者もお店づくりを手伝いました



デザイナーから一言

2

016年より法人と関わり、ディスプレイセンター山びこの「空色手ぬぐい」などを手掛けました。その当初より、作品だけでなくそれを置く空間も合わせて整えることで法人の活動がより地域に伝わると考え、今回Hicobaeのトータルリニューアルを担当させて頂きました。

デザインギルド NEWPLAIN (ニュープレーン) 代表。ロゴ1つから店舗空間まで、ジャンルを問わず何でも手がけるデザイナー。
http://newplain.com

守本 悠一郎さん

みんなが大切にしたいくなるお店に

リニューアルに際しては、あくまで商品が主役であるため、お店はその商品たちを引き立てる「ステージ」になるように主張を抑えたデザインにしました。また、一過性のリニューアルで終わらせないために初期段階から職員さんと一緒に考えて、みんなが大切にしたいくなるお店を徹底的に追及しました。

つむぐとは「器」のような場所です。それ自体に中身は無く、そこにご利用者、作品、職員、地域の方々が入ることで初めて完成します。そして、それらをつむいだとき何が起るのか。今後つむぐとが起す化学反応をととても楽しみにしています。

お手伝いいただいたお2人→
後左：有村大治郎さん
後右：田中大貴さん



ふらっと立ち寄れる場に

みなみ
金井 美菜海さん

武蔵野美術大学インテリアコース卒業。リノベーション会社での勤務を経て、現在はIT関連会社にてデザイン業務を行う。

回デザインを一緒に担当した守本さんとは、大学時代の同級生であり、福祉関係のデザインをするサークルで共に活動を行っていました。その時から「物の価値を正しく伝えたい」という想いがあり、つむぐとの商品の良さをよりたくさんの方に伝えたいと感じ、担当させて頂きました。

大切にしたいコンセプトは、「みんなで行くこと」です。初めは職員の方にどのくらい参加していただけるのかわからない参加してはいたのですが、最大限の協力をいただき、店名からお店の仕上げりまでみんなの想いが詰まった場所になったと思います。

デザイン面では、なるべくシンプルに、そして三角形の敷地を生かした配置に設計しました。

ひと休み用の特製ベンチも作ったので、色んな年代の人が、ふらっと立ち寄れるような場所になってくれたら嬉しいです。そして、つむぐとの商品の魅力がストリートに伝わって、人々の手に旅立って広がっていったら、と願っています。

今

回デザインを一緒に担当した守本さんとは、大学時代の同級生であり、福祉関係のデザインをするサークルで共に活動を行っていました。その時から「物の価値を正しく伝えたい」という想いがあり、つむぐとの商品の良さをよりたくさんの方に伝えたいと感じ、担当させて頂きました。

リニューアルイベント報告

★三鷹タワースマルシェ
7月20日(土)、9月21日(土)
「まちが保育園」の方々と一緒にワークショップを開催しました。

★輪っかになるう展 (inギャラリー永谷)
8月2日(金)〜8月5日(月)

ご利用者、ご家族、地域の方、ボランティアさんなど、来場者数257名と大盛況でした。皆さんご来場ありがとうございました！

★むちゅーわくわくフェスタ
9月1日(日)

武蔵野市中央地区商店連合会主催のイベントで、だるまのワークショップと押し花しおりづくりのワークショップを行いました。子どもたちがたくさん集まり、だるまと押し花完売です！

「つむぐとリニューアル企画」として、7月より様々なイベントに出店しています。

★9月9日(月)からは、リニューアル記念として、先着20名のお客様に、押し花しおりづくりを体験して頂きました。そして2020年1月には、つむぐとにて、リニューアルイベントも開催する予定です！

詳しくは、つむぐとInstagramを！



月に1度のスペシャルディナー

居住支援ユニット

リエゾンでは各グル

ープホームで月1回、「廣田ディナ

ー」という行事が行われています。以

前、洋食料理店でシェフだった廣田文

紀さんに料理の腕をふるってもらった

食会です。下さらえから盛り付けま

で、プロの技を楽しむことができます。

2002年のやはたハウス開設以来17

年間のおつきあいです。

ご利用者の嗜好や嚙下機能を考慮

し、季節感あふれるメニューを廣田さ

んが考えます。例えば、土用の丑の日

が近い7月にはうなぎ(うなぎときゅ

りの酢の物)が出てきたり、8月は

お肉のトッピングにピンクペッパーが

まぶしてあって残暑にぴったりの、や

やスパイシーな味付けとなっていたり

しました。冷蔵庫にある食材を活用し

つつ、プロの力を借りることで普段と

は一味違う食事の楽しさを提供してい

ます。



当日は廣田さんと冗談を交えながらのおしゃべりで笑顔あふれる夕食の時間となります。廣田さんは、『美味しい』と言ってもらえるのはもちろん嬉しいけれど、皆さんと他愛もない話をして盛り上がるのが楽しい」とも話されていました。

レストランで出てくるような本格的な料理に、廣田さんの愉快なトークも添えられて、ご利用者も毎月楽しみにされている行事の一つとなっています。

(居住支援ユニットリエゾングループ
ホームRENGA 間部 静夏)



- 8月のメニュー
- ・つつつぶ人参の冷製スープ
- ・白身魚のホイル蒸し
- ・鶏肉ソテー
- ・ヨーグルトソース
- ・カットサラダ
- ・フルーツ (ぶどう、メロン)

食を通じて 地域とつながる

ホストタウン ルーマニアとの 国際交流

過日NHK「おはよう日本」で、

28年前から続いてきた武蔵野市とルー

マニアの交流が、東京2020オリ

ンピック、パラリンピックのホストタ

ウンへ結実したと放送されました。や

さい食堂七福も「七福ができること」

でホストタウンを盛り上げたいと考え

ています。

ルーマニアはヨーロッパ有数のワインの産地。古いワイン文化の歴史を有する国です。七福ではご利用者と共に、

5月と7月に「タワーズマルシェ」でグラス販売を、8月には店内で3種のワインが飲める「飲み比べセット」を提供しました。市内のルーマニア関連イベントの話題をワイングラス片手に



8月の七福メニュー「ルーマニアワイン飲み比べセット」



楽しむお客様もいらっしゃり、楽しいイベントですので、市の交流事業課が作成しているホストタウンサポーター募集のパンフレットを配布して広めています。

2020年を見据え「地域社会に役立つ」という理念の下、七福は食を通じてできることを考え、実現していきます。

(武蔵野福祉作業所 草野 理香)

● えすぷれつと

Special

わくらす武蔵野の開設など事業拡大に伴い、多くの新人職員がわたしたちの仲間に加わりました。普段は2名のエッセイコーナーですが、今回は特別に4名の職員に新人ならではの悩みや喜びを語ってもらいました。

● かけがえのない
お一人として

障害者地域生活支援ステーション
わくらす武蔵野 鈴木 陽太

今年の4月に入社し、新設されたわくらす武蔵野で働き始めて約半年がたちました。わくらすでのご利用者との出会いは、私にとって大きなものでした。ご利用者の中にはことばによる表現のない方がいらっしゃいます。初めの頃は、その方達が何を想い、伝えようとしているのかわからず、隣にはい



ご利用者との夕食のひとコマ

るけど何も出来ないもどかしさを感じていました。しかし、ご利用者の皆さんは言葉以外の表情、仕草、声の出し方など様々な方法で私に教えようとしてくださっているのだと気がつきました。まだ戸惑うこともたくさんありますが、それに気づけた瞬間はその方と通じ合えたのではないかという喜びがあります。

ことばによる表現がなくても、一緒に音楽を聴いたり、お菓子を作ったりと何気ない日常の場を共有することで気持ちを分かち合えることも経験しました。ご利用者の生き生きとした姿に私自身励まされ、その姿をもっと引き出せるようになりたいと思いました。人の気持ちは目に見えないものですが、一人ひとりがそれぞれの想いを持って生きていくはずで。そんなかけがえのない一人の人としてかわり合う姿勢を大切にしながら、ご利用者が安心安全に生活を送れるような支援をしていきたいと思っています。

● 一人ひとりに合わせた
環境設定

こども発達支援室ウイズ
人見 祐加

こども発達支援室ウイズに勤務して、約半年が経ちました。

ウイズの朝は、送迎から始まります。バスの中は毎日賑やかです。お子さんと一緒に、手遊びをしたり、動物の鳴き声クイズをしたりしながら過ごしています。最近では、顔を手で隠す顔だけかくれんぼが人気です。指と指の間から、こちらを見た瞬間を狙って、



目で見てわかりやすい朝の会(おあつまり)の様子

「みーつけた!」と声をかけると、楽しそうに笑ってくれます。送迎の時間は、みんなと密にかかわれる時間です。この機会を生かして、たくさん遊びながら、もっと仲良くなりたいと思っています。

ウイズで保育士として働き始めてから、環境を整える重要性に気がつきました。例えば、活動で使うものを見せるとき、机の上で見せるのか、目の前で見せるのか、お子さんの様子は変わってきます。座席も、人がたくさんいる方よりも、壁側に座った方が落ち着いて活動できる子もいるので、一人ひとりに合わせて、環境を設定していきます。少しの違いかもしれませんが、子どもの発達にとっては大切なことなのだと日々感じています。環境を整えるには、幅広い知識と経験が必要です。お子さんたちが毎日のびのびとウイズで過ごせるように、皆さんに力をお借りして、様々な知識を得ながら、経験を積んでいきたいと考えています。

経験値上昇中の 新人。パン屋

ワークセンターけやき
濱田 紗希



ご利用者といっしょに、パンの製造と隣接するカフェの手伝いをしています。(筆者右)

本年度よりワークセンターけやきに配属となり、製パン作業と、販売の手伝いをしています。パン作りは人生で初めての作業であり、入職当初はとても苦労しました。バレンタインにお菓子を作るくらいの経験値しかなかった

私は、丸めるだけでも要領が分からず、他の職員やご利用者の方々にも教えていただきながら少しずつ作れるパンの数を増やしてきました。今ではすっかり職場に慣れ、ご利用者の中にはボールクッキーを野球クッキーと呼ぶなど、お茶目な一面を見せてくれる方がいることもわかってきました。

さて、私の所属しているパールブーケは、就労継続支援B型に属します。仕事を始めたばかりの頃は支援者である我々職員が指示を出し、それをこなしてもらおうという形だと思っていました。しかし仕事の経験を積み、研修等で学んでいくにつれて、相互主体的に取り組むことが大事であることに気がきました。互いに尊重し、ご利用者が主体的に仕事に取り組めるように支援していくのが支援者の役割なのではないかと感じ、そのような支援者になりたいと思うようになりました。

まだ不慣れな所もありますが精一杯頑張っていきたいと思えます。

新鮮な毎日で 楽しく明るく

特別養護老人ホームゆとりえ
花水 三織



ご利用者の笑顔を元気の源に頑張ります！

私は昨年、ゆとりえに転職してきました。きっかけは周りに介護職の方が多く、私の姉もデイサービスで働いている為、様々な話を聞いていたことでした。私も将来、様々な方を支えられたらと思い、事業も多数あり職場の方の優しさや雰囲気の良いさに惹かれ、ゆとりえで働かせて頂くことになりました。今まで介護に携わったことがなく、

始めは「仕事を覚えなきゃ！」で頭がいっぱいでした。しかし、これでは一番大事な「ご利用者との関わり」が出来ないと思い、ご利用者とコミュニケーションを取ることを心掛けるようにしました。それでもなかなか人間関係を築けない方がいました。私の介助に拒否が強く、声掛けしても会話が出来ない日もありました。何が原因か考え、ご利用者に興味を持つことが大事だと思い始め接して来ました。ある日ご利用者と散歩する機会があったので、関係を築けないご利用者をお誘いしました。その時私の「おはようございます。お花綺麗ですね」の声掛けに笑顔で「おはよう。綺麗」と返事がありました。とても嬉しく、私も笑顔になったことを今でも覚えていています。これからもご利用者一人一人に興味をもって接し、心に寄り添うことが出来る介護職員になりたいです。

えすぷれっど

Special

たて糸よこ糸はお休みです。次号をお楽しみに！

福々刻々

基本を忘れずに

どんな仕事もコミュニケーションが肝要です。言葉によるもの、そして表情や身振りなど非言語のものなど様々な形がありますが、いずれにしても相互の関係性の中で、心あるメッセージが行き来しているかが大事です。過日、高齢者支援部門の職員全体研修で「利用者の尊厳を守り、笑顔がこぼれるケアの実現に向けて」と題した「接遇・マナー研修」が開かれました。マナーとは相手を大切に思う姿勢のことであり、状況に応じて適切な表現ができるようになることだと講師は話されました。相手基準の視点を忘れないように、と。

私も基本の大切さを改めて学ぶ良い機会となりました。しばしば私たちはメッセージの不一致を起すことがあります。シユロスバーグ（米、心理学者）の表情相関図によれば、愛情や楽しさなどを表わす「笑顔」は、怒りや嫌悪、苦しみや恐れといった表情とは遠くにある関係ですが、軽蔑や驚きとは実は近い距離にあつて、これらは混同されやすいと言います。自分に向かって笑顔で話をされたけど、その

表情が自分を小馬鹿にしたように感じられたという嫌な経験をした方もおられるかもしれません。支援にたずさわる人間には、他者と良好なコミュニケーションが求められます。良かれと思うだけの自分満足の視点では本来のメッセージは相手に届きません。「木の長きを求める者は必ず根本を固くす」という言葉があります。自分の経験の蓄積がおざなりになつてはいないか、常に振り返り、基本に立ち返ることの大切さを忘れないようにしたいと思います。

（理事長 安藤真洋）

ミライズ☆基金

～ご寄附のお願い～

この度、社会福祉法人武蔵野では、事業の継続・充実のために基金を設立いたしました。ご高齢の方の尊厳を守りながら快適に生活していただくこと、重い障害のある方がその人らしく生活していくことを支援するためには、多くの人手と資金が必要となります。

いただきました寄付につきましては、新たなニーズへの対応・社会貢献・地域貢献など地域福祉の充実、事業活動の持続・充実・発展、施設の新設・修繕等に活用いたします。ぜひご協力をお願いいたします。申し込み方法は下記にお問い合わせいただくか、下記HPをご覧ください。

お問い合わせ先 本部事務局 ミライズ基金担当
電話：0422-54-7666
メール：musashino@fuku-musashino.or.jp
HP：https://fuku-musashino.or.jp/cms/?p=1688

映画「いろとりどりの親子」上映会のご案内

当法人では毎年ミニ講座を開催し、地域の皆さまへ情報発信を行っております。今回は、大野田地域にお住まいの皆さまと協力して、以下の通り映画上映会を行います。

- ◆日 時：令和元年12月7日（土）午前10時～12時
- ◆会 場：武蔵野市立大野田小学校 けやきホール
- ◆参加費：無料 ◆持ち物：スリッパ
- ◆申込・問合せ：ジョブアシストいんくる 後藤
メール：goto-koji@fuku-musashino.or.jp
電 話：0422-50-1701 ★12月2日までにお申し込み下さい。
- ◆定 員：150名（定員を超えた場合のみご連絡します）

皆さまのご参加を
お待ちしております！



編集後記

リニューアルしたつむぐとで新しい出会いがあるように、今後もイベントなど積極的に参加していきます！（さ）